

地域とのつながり ～サップ体験の様子～

本校では、毎年恒例の授業としてサップ体験を実施しており、児童生徒たちがとても楽しみにしている活動の一つです。もう何年も前からサップや雨天時にはヨガでお世話になっている辺見さんと岡本さんに、各部ごとに年2回ご指導をいただいています。

お二人は子どもたちのことをよくご存じで、多くの児童生徒の名前を覚えてくださり、温かく声をかけながら指導してくださっています。



この日は、高等部と小学部の児童生徒がサップ体験を行いました。

高等部のMさんは、辺見さんにボードに乗る位置を確認していただいた後、自分一人で上手に漕ぎ出すことができました。最初はそれぞれが一人で操作を確かめながら進み、次第に慣れていく様子が見られました。

その後、2艘のサップを使って協力する活動にも挑戦しました。1艘の先端をもう1艘の後方に乗せて連結し、2艘でプールを行き来するなど、楽しみながら工夫して取り組む姿が印象的でした。

した。

最後には、職員も加わって数名で競争を行い、大いに盛り上がりました。

サップ体験では、子どもたちが楽しみながら活動する中で、バランスを取りながら進む様子や友達と協力する姿がたくさん見られました。こうした学びと楽しさを感じられることもあり、毎年楽しみにしている大切な時間となっています。また、地域の方々とのつながりの中で実現している貴重な体験でもあります。ご指導くださった辺見さん、岡本さんに心より感謝申し上げます。これからもこうした体験を大切にしていきたいと思います。

